

令和6年度 狭山市立広瀬小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)確かな学力の育成 (2)豊かな心の育成 (3)安全・健康・体力の育成 (4)学年・学級経営・生徒指導・保護者対応の充実 (5)特別支援教育の充実 (6)危機管理に強い学校づくり

2 本年度の経営方針

通ってよかった 通わせてよかった 動めてよかった と言える学校 (あ・いう・え・お が溢れる児童／子供の笑顔が教師の し・あ・わ・せ)
--

3 自己評価結果

【評価の目安】

A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	※	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教 育目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	B	○児童・教職員への周知は図られた。 ○保護者へ教育活動の公開を増やしていく。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	B	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	○担任と担任外、校務分掌による軽重を緩和し、業務の平均化と軽減を推進する。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 学年 学級 経営	7	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	B	○学年・ブロックの連携は密に行われていたと感じる。 ○「報・連・相」と共通理解・共通行動を徹底していく。
	8	計画的、意図的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	9	児童の自己決定の場が多く設定されたか。	B	
	10	教室環境の整備に努力がなされたか。	B	
	11	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	B	
4 学習 指導	12	学習規律の徹底を意識して取り組んだか。	B	○市の委嘱を受けた学校課題研究によって、広小スタイルの学習の流れが定着しつつある。各種学力調査での結果に表れるよう、研究成果の継続と推進を行っていく。保護者への啓発も行っていく。
	13	児童が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。(課題提示・思考・評価)	B	
	14	基礎的基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	B	
	15	児童の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	16	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な利用がなされたか。	B	
5 道徳 教育	17	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	B	○日常生活における道徳の実践力を高め、円滑な人間関係づくりを身につけさせる。
	18	道徳の時間が児童の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	B	
6 特別 活動	19	全体計画を理解し、児童の自己決定の場が多く設定されたか。	B	○児童主体の活動場面をさらに増やしていく。
	20	児童会活動などの特性が理解され、児童の自己実現がなされたか。	B	
7 学校 行事	21	学校行事の特性を生かし、児童の自己実現が図られたか。	B	○行事ごとの反省を生かし、活動の充実と精選を図る。
	22	職員の仕事分担が適切であり、お互い協力がなされたか。	B	
8 児童 指導	23	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	B	○児童間トラブルの聞き取りの際は、共感と受容を大切にし、児童が納得する指導・解決を目指す。 ○不登校児童については、安易に出席を目標と考えず、児童や保護者の気持ちに寄り添いながら、丁寧に指導・相談を継続する。
	24	カウンセリングマインドに心がけて指導がなされたか。	B	
	25	教育相談活動が計画的に実施されたか。	B	
	26	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	B	
	27	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	B	
	28	不登校児童が出ないよう努力がなされたか。	B	
	29	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	B	
9 保健 ・ 安全 指導	30	健康観察が丁寧に行われたか。	A	○重大な事故の減少に向けて、廊下歩行など生活安全についての学習・指導を充実させる。 ○朝の登校時間が守られるよう、各地区委員へ依頼し、適切な集合時間を設定した。
	31	児童の危険な行動【予測されるものを全て】に対して適切な指導がなされたか。	B	
	32	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされているか。	B	
	33	治療が必要な児童に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	34	事故に対する対応が適切になされたか。	B	
	35	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	
	36	給食指導が適切になされたか。	B	
10 職員 会議	37	開始時刻が守られたか。	A	○児童ファーストの考えに基づき建設的な意見を出し合い、活発に議論していた。
	38	問題意識を持って臨めたか。	A	
	39	議案の内容や提案のし方が適切であったか。	A	
	40	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	41	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
11 教職 員の 服務	42	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	○教育公務員として、高い倫理観をもって服務にあたっていた。 ○職員間の輪(和)を大切に、学び合い、高め合う集団を形成していく。 ○校務の精選・負担軽減を推進し、職員の健康に留意したい。
	43	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	44	出勤簿は毎朝、押印されたか。	A	
	45	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	
	46	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	A	
	47	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	48	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	49	文書を出す場合は事前に起草し決済を受けているか。	A	
	50	現金の取り扱いには細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
	51	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たされたか。	A	
	52	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
12 校内 研修	53	意欲的に取り組むことができたか。	A	○学校課題研究等の推進に加え、日々の実践を通して、見合う、学び合う機会を計画的に設ける。
	54	研究の結果、児童の姿が見られ、児童のためになったか。	B	
	55	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしかり身についたか。	B	
	56	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
13 施設 設備	57	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	○老朽化が進んでいるが、点検・補修を適切に行っていく。
	58	使用後は施設等が確実にきれいに後始末ができたか。	A	
14 PTA ・ 地域	59	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	○体験活動を増やし、地域との関わりを深めることができた。さらに連携を推進していき、地域人材の活用に力を入れていく。
	60	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	61	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	B	
	62	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	B	